

# 「猿田洞」再測量調査報告

関 治 (SEKI, Osamu 高知大学学術探検部 1994 年度部長 滋賀県在住)



## 1. はじめに

このたび、高知県「猿田洞」の再測量結果をケイビンゲジャーナルに報告させていただくこととなりました。

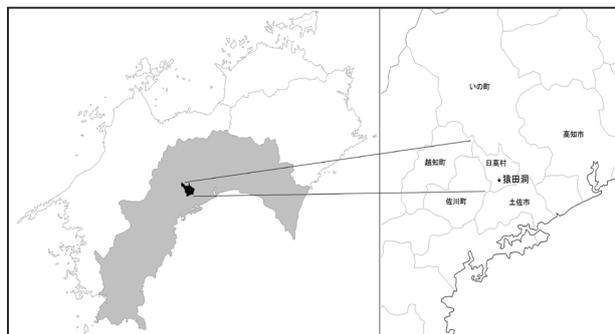
「猿田洞」は江戸時代から知られている地元では有名な洞窟で、延長も 1000m を超えていることが分かっていました。昭和 30 年代には、かの山内浩先生によって調査が行われています。にもかかわらず、なぜか日本の大洞窟リストには入らず、隠れた洞窟となっております。

今回報告します測量結果は、1990～95 年頃にかけて高知大学学術探検部の部員たちが少しずつ継続して完成させたものを改めて見やすく編集したものです。洞内の各所の呼び名は測量当時の部員たちが使っていた呼び名を尊重しました。

なお、縦断面のデータは散逸してしまい、報告できないのが残念です。

洞窟界では洞窟名を「さるたどう」と呼称することが多いが、所在地の小字名は「さるだ」であり、日高村教育委員会も「さるだどう」としている。しかし、地元では「さるたどう」と呼称することもある。

## 2. 猿田洞の概要



名称	猿田洞 (Saruda-do)
別称	猿田石灰洞
所在地	高知県高岡郡日高村沖名 1619(猿田地区) 北緯 33 度 30 分 56 秒 東経 133 度 21 分 27 秒
洞口標高	下部洞口：約 20m 上部洞口：約 60m
洞口数	2
測線延長	1,214m
高低差	約 40m
水流	あり
渉外	日高村教育委員会 ☎ 0889-24-5115 に電話、人数・氏名を知らせる (2010 年 5 月現在)。
備考	1858(安政 5) 年頃、農民：虎之丞によって発見。 義賊忍者：日下茂平が忍術修行をしたという伝説あり。 1960(昭和 35) 年に日高村文化財に指定。

## 3. 洞内記載

- ① 洞口は山裾と山頂付近の 2 か所。
- ② 山裾の洞口は道路に面し、一般的にはここから入洞する。



洞口付近

- ③ 洞口には猿田龍王神様がお祀りしており、家内安全・商売繁盛・・・なんとカラオケ上達にまでご利益がある。
- ④ 下部洞口の下から湧水が生じており、「長寿泉」と呼ばれ、汲んで帰る人もいる。
- ⑤ 下部洞口から上部洞口へぬけるメインの 2 ルートには鉄製の梯子とガイドラインが設置されており、ときどき一般の人がライトを持って通りぬけの探検に訪れる。照明はない。



猿田龍王神が祀られている